

2 学年通信



江戸川区立瑞江中学校
第 2 学 年
令和 7 年 5 月 30 日 第 5 号

● 運動会の見どころ案内!! ●

2年生の運動会の出場種目の練習が進み、見どころがわかってきましたよ。ぜひ「ここ見てね」をチェックしてください。

【開会式】

全校生徒が気持ちを一つにして、3年生運動会リーダーの発声に合わせて集合します。気合が入り運動会の始まりを感じ、うきうきした気分になさってください。

そして選手宣誓、準備体操。運動会のスイッチがこことからだに同時に入るときです。揃ったラジオ体操、見ていて気持ちのいいものです。

【障害物競争】

2年生12名が選手になっています。ハードルをくぐり、網をくぐり、くぐって窮屈と思ったら平均台をするすると渡り、最後は🏊のビート板にボールを載せてよろよろ、すいすいとゴールへ向かいます。調子がいいとスムーズにいくのですが、ちょっとタイミングが狂うと悲しいかな、どこでもおろおろしてしまうのがこの競技の面白いところです。



【メドレーリレー】

メドレーリレーっていうけど、水泳の種目でしか聞いたことがなくて、いったいなんぞや、なのですがこの競技も見ていて楽しいです。各クラス5名での1レースが2レース行われます。最初は一人でスタートし、麻の袋に下半身を入れ飛び跳ねて進みます。リレーなので2走者につなぎます。二人一組でデカパンに入り気持ちをそろえて走ります。3走者は二人三脚でゴールに向かいます。どこの走者の種目が難しいのか、まずは慌てないこと、だと思います。

【蝶の一生】

この競技は瑞江中では初挑戦かもしれません。見るのとやるのとでは全く違う難しさがあって、ちょっと見ごたえがあり、楽しませてくれます。「蝶の一生」というように、卵、幼虫、さなぎ、成虫と成長していく様子を競技にしています。卵は二人一組で竹の棒を持ち、2本の棒の上にボール(卵)を載せて進みますが、なかなか難しそう。卵は棒で挟んではいけないというルールがあり(卵はデリケート)載せているだけなので、バランスをとって走るのが想像以上の難しさ。幼虫になると段ボールをキャタピラのようにして、中に入った人がハイハイの要領で進みます。ハイハイがうまい人、先が見えずにコースアウトする人などいろいろな幼虫がいます。幼虫はさなぎになります。棒にじっとぶら下がり、静かに成虫になる



のを待ちます。棒はじっとしていると競技にならないので、さなぎをぶら下げて走ります。さなぎが落ちないようにそっと、素早く、です。そして蝶になったら大きく羽ばたいてもらいます。空はまだ飛べないので、騎馬に乗せてもらってもう少しで飛び立ちます。早く飛び立った蝶からゴールです！！

【全校大縄跳び】

全クラスがクラス全員で大縄跳びをします。昨年と違って一つのチームですから、30人以上で跳んでいます。当然のことながらかなり苦戦しています。なかなか続きません。気持ちばかりが焦ってしまいます。2分間の勝負です。焦ることなく、落ち着いて呼吸をそろえてしっかり跳んで回数を重ねていきましょう。応援も息をのんで、一緒に緊張しながら見えています。数えながら祈るような気持ちです。

【部活動対抗リレー】

これも瑞江中学校のちょっと楽しみな競技です。運動部も文化部もすべての部活がリレーの選手となって走ります。本気で走るもよし、楽しいパフォーマンスで走るもよし、充実している日々の部活動の様子が垣間見えます。

【ダンス】

何年ぶりかのダンス復活。男女混合で色別のパフォーマンスになりました。すべてが「はじめて」のことで、心配と苦労が続いていましたが、今の時代「みんなダンスが大好き」という思いにあふれています。みんなで満足感、達成感、成就感などいっぱい感動の詰まった演技ができるよう、最後まであきらめずに躍動していきましょう。

【全員リレー】

練習でもいつも同じクラスが圧勝することがなく、いよいよ本番を迎えます。つまり本番まで勝負の行方が分からないという楽しみが残っていますよ。どのクラスも勝つ可能性を秘めています。小さなミスをなくしたら勝てる、のかもしれない。手に汗握る競技ですよ。全員で落ち着いて正確に走りぬきましょう。

【学級対抗リレー】

運動会の花形ともいえる選抜選手によるクラス対抗リレー。選抜で走るのとは早くて得意な選手でさえ、一周150メートル、校庭だとほとんどカーブ、という良いとは言えない条件で走っています。運動会のフィナーレ種目は各クラス8名の精鋭たちに飾ってもらいましょう！！



【閉会式】

おそらくみんなの日焼けした笑顔が閉会式の日玉です。結果発表を聞き、お互いスポーツマンシップの下、すべての人をたたえ、裏方の人たちにも感謝の気持ちをもって清々しく終わりたいものです。最後の校歌、この日の締めくくりとしてしっかり声を出して歌えることを期待しています。

お疲れさまでした。紙面の都合で続きは次号に乗せます。結果発表と共にお楽しみに。